

大河原ロータリー

クラブ会報

例会日：毎週木曜日 12時30分
 例会場：和洋亭 ぶざん
 柴田郡大河原町字新南25-18
 TEL 0224-51-1113

会長：村上 則夫
 副会長：樽見 正仁
 幹事：佐藤 能文
 副幹事：丸山 勝利
 広報・ICO
 委員長：津田 政行
 副委員長：岩間 範男
 委員：岡崎 隆・佐藤克美・高橋大志



2017~2018年度
 国際ロータリーのテーマ

ロータリー：
 変化をもたらす

ROTARY:
 MAKING A
 DIFFERENCE

2017-18年度 RI会長 イアン H.S. ライズリー

国際ロータリー第2520地区
 2017-2018年度ガバナー 藤崎三郎助

事務所：〒989-1224 大河原町金ヶ瀬字町17 TEL0224-51-1400 FAX0224-51-1188 info@rotary-ogawara.com

2018年1月25日(木)第2447回例会

会長あいさつの前に、出席委員会の櫻井俊寛委員長より、今年度前期出席者の表彰を行いました。

- 1位 100%出席 小田部晃二郎会員・高橋尚敏会員
- 2位 1回欠席 高橋大志会員・津田政行会員
- 3位 桜井淳一会員・武藤茂会員



会長あいさつ

会長 村上 則夫



皆さんこんにちは、本日も例会に出席頂きまして誠に有難う御座います。

昨日、一昨日と大雪が降りまして大体 30 cm位積もったのでしょうか？2年ぶりの大雪という事で皆さん凍った路面で怪我などはしていませんか、私も雪かきをしましてちょっと筋肉痛ではありますが、皆さんも雪かきで筋肉痛になっていると思いますが、その為という訳ではありませんが今日のお昼はトンカツという事で大きい物を3枚も出して頂き、これを食べて栄養をつけて頂いて疲れと筋肉痛を癒して頂いたものと思います。東京でも今日はマイナス4度という事で、大雪で列車が遅れたり、路面が凍って大変だったという事です、今日会社に来る途中の民家の前に氷柱を見ました、凄く長い氷柱を見まして、そのぐらい今年寒いのだろうなと思ひまして、最近このような長い氷柱を見た事がないというふうに季節を感じておりました。

先週の土曜日の20日が大寒という事で3日が節分、4日が立春という事で、この頃までは寒さが続き2月いっぱいはかなり寒い日が続く、3月になると平年ぐらいの寒さになるのではないかとこの事でした。

あと今週の火曜日に50周年の実行委員会を開催致します、ほぼ内容が決定いたしました、開催日が3月24日ですから、あとよいよ2か月を切っているという事になってきましたので、会員皆様のご協力を頂き一丸となって50周年の式典を成功裡になるよう導いて頂きたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。後ほど立石博政副実行委員長の会員スピーチの中で50周年の内容に関して詳しくお話があると思います、チラシが出来ましたがこの様な感じで記念講演はさとう宗幸さんのトークショーとミニコンサートという事で行い、入場無料で行うという事で、これは全て立石博政会員のご尽力で、さとう宗幸さんをこの大河原ロータリークラブに来て頂くという事になりました。

今月は、職業奉仕月間という事ですが、いろいろ調べてみたのですが、職業奉仕というのは中々辞書にも載っていない言葉でありまして、職業というのは当然自分が仕事をした糧として利益を享受するというのが職業、その職業というのと奉仕が一緒になるというのはどういうことかと言うと、ちょっと調べて見ましたが、ある会長の話によりますと、弁護士が無料法律相談をしますとか小田部歯科の先生が無料で歯科の検診をしたりすること、これは職業奉仕ではなくて社会奉仕ではないかというお話がありました、職業奉仕というのはロータリアンがロータリーに向けてすることが職業奉仕という事で、私たちが常日頃職業を通じてロータリー以外にすることが社会奉仕という事でありまして、先週まさに山内さんが来て頂きまして、早速アマゾンでパパママカットを購入しました、私の会社の社員の子どもさんがまだ小さくてこのパパママカットを差し上げ、これが正に職業奉仕と言う事になります、私の理解が間違っているかどうか分かりませんがこれが職業奉仕、ロータリアン以外の方に向けた奉仕活動は社会奉仕と言う事ですので、皆さんご理解頂ければと思います、以上でございます。

幹事報告

幹事 佐藤能文



皆さんこんにちは、今週も沢山のメンバーがご参加頂きまして有難うございます。

○ご案内しております、創立移動例会ですが、出席返答の期日が近くなっておりますのでよろしくお願いいたします。

○ロータリーとしては大きなイベントになります、インターシティーミーティングが3月17日、竹駒神社にて開催されます、こちらの案内も来週にはFAXを致しまして2月10日ぐらいまでには取りまとめてご報告しないとなりませんので、よろしくお願いいたします。

○さくら青年会議所から新年式典のご案内が届いておりますので皆さんへ回覧しますからお目通し願います。本日のご報告は以上となります。

各委員会の報告

米山BOXの報告 藤江裕佳里 委員長

森 徹 会 員 積立します

スマイルBOXの報告 森 徹 副委員長

樽見正仁会員 1月22日のケーキありがとうございます。

立石博政会員 下手なスピーチをします、よろしくお願いいたします。

武藤茂会員 毎日大雪で大変ですね、滑って転ばぬよう注意してください。
立石さんスピーチご苦労様です。

村上則夫会員 立石会員、会員スピーチ宜しくお願いします。

佐藤能文会員 立石会員、本日は会員スピーチ宜しくお願いします。

高橋尚敏会員 立石会員のスピーチを歓迎します。

小田部晃二郎会員 お寒うございます、立石会員スピーチありがとうございます。

森 徹 会 員 立石さん、スピーチご苦労様です、楽しみにしております。

出席の報告 櫻井俊寛 委員長

出席の報告を致します、本日1月25日、24名で66.67%です。

会員スピーチ「貴方にとってロータリーとは」

立石博政 会員



皆さん今日は、大変プレッシャーの掛かるニコニコBOX有難うございました、それほど立派なスピーチは出来ませんので心して聴いて頂きたいと思います、私に言われた題なのですが「貴方にとってロータリーとは」という事ですが、「貴方にとっては」とは押しつけがましいと思いますが、「私にとっては」でも通じるのではないのかなと思ひまして、私がロータリーに入ったきっかけとすれば、その辺でご理解できるのではないかと思いますので私なりにお話しをさせていただきます。

私がロータリーに入るきっかけになったのは、私もよそ者なので62年に大河原に来ました、その時は身内しか分からず他に誰も知りませんでした、その様な中でサラリーマンをしていたのですが、急に工場の管理をしてくれと言われて、義理の親父ですけれども、今の太陽精密の創業者の親父から呼ばれまして、それが大河原に住むきっかけになりました、その時に定住するにあたり家を構える事になりまして、その時に一番仲間になったのは武藤さん高城さんでした、高城さんからいろいろお話がありまして、今の構えている家は武藤さんの紹介で土地を購入しまして家を買いました、その時いろいろと人の繋がりがあるものだなと思ひました、私は麻雀が下手なのですが、麻雀に誘われている話をしているうちに、むかし菅野輝夫さんがいましてその方はロータリーに大変力を入れておりまして、誘われたのはこなやさん高城さんなのですが、何か推薦人がいつの間にか菅野輝夫さんになって、ああそれがマージャン繋がりでそうなったのかなという感じで、同期で木村米屋の木村光弘さんが入りまして、武藤さんはまた別の方の紹介で入って入って、また同期で佐藤さんという方も入りまして、その様な入り方で大河原の人と知り合うにあたって、もっと大河原を知りたいなと思ひ興味を持ちまして、自分も大河原の人と知り合いになり街をもっと知りたいという思いも気持ちの中にありましたし、もう一つは内の親父が平成4年に亡くなって、ますますここに居座らないといけないなという事もありまして、平成5年に大河原ロータリーに高城さんの紹介で入りまして、それからざっと数えましても25年経ちました、後ろを振り返ったら上の方は3人しかいないという様な古株になってしまいました。

余談ですけれども、その様な中で私が入った時の情報委員会の委員長さんは確か佐藤慎吾さん、副委員長さんが関谷幸郎さんで、佐藤屋さんの家に呼ばれて情報委員会で勉強しました、その中で地元の精進料理でおぼろ豆腐を食べさせられたのが美味しく大河原を知る一つのきっかけになったと思ひます。その様な人との繋がりの中で、亡くなりましたが八島さんとか日下さん、それから大久さんとかいました、福角さん八重樫さんとか皆さん個性のある方で、その様に個性の集まった中でロータリーの場合だいたい事業主の方が多いのでそれぞれ考え方が違うもの、いろんなものがあるのですが、ロータリーの旗の下に一つになって、いろんな事業をやって来ました、10周年から私は覚えていますけれど、それから一番ロータリーで勉強して頑張っていたのは庄司稔さんで当クラブからは最初のガバーという事で、高城さんが代表幹事になって、その時私が副会

長でした、安藤征男さんが会長で、その時に地区大会を行いました、各方面から人を集める事も大変な事また人を接待する事も大変な事、今いる会員で当時の事を知っている方もおりますが、一生懸命になって心ひとつになって、えずこホールで約800人、1,000人以上来たと思います、会場は800人しか入れませんが、そのぐらい人数が集まったという記憶があります。この様な事も一つの事業としてやれたのも、それぞれその思いの下で一つになって行って良かったなと私もあの時は感動した記憶があります。その様な事を行うという事はお互いの事を理解し合いながら、お互い庇い合いながら行うのがこの様な事業だと思います、会社経営もその通り一人ひとりの個性を生かしながら、また人を使いながら行っていくと小さな仕事も大きな仕事に繋がるのかなと思います。ロータリーならず私のその様な思いの中で入ったきっかけというのは皆と知り合いになりたいたいという事が入った訳ですけれども今になるとそれは十分財産として生きているなと思います。その様なきっかけを作ってくれたのは高城さんと昔最初に知り合った方が良かったから今があるのかなと思います、一つの事業でもなんでもそうですけれども、やはり人脈が大事な、いろんな考えの下で喧嘩する人は喧嘩する人で仕方ないなと自分と合わないなと思ったらそれで終わりかもしれませんけれども、それはどの様な事が原因でその様になったのかなと考えれば、元に戻ればその様な事を無くすれば良い事であって深い付き合いもいろんな事があります。

私の場合も、ここからゴルフの話をさせていただきますが、今回の50周年記念の事業の中でさとう宗幸さんを呼べたのも、私が趣味としてやっていたゴルフの繋がりです、さとう宗幸さんはゴルフが大変好きで上手なのですけれども、内の女房の槻木のお母さんのお母さんですけれども、そのばあちゃんの100歳の誕生日の時にさとう宗幸さんに投稿しまして、お晩でございますの中で読んで頂きました、実家の叔父さんが文章を書いてやったのですけれども、それを読んでもらったのを、たまたま宮城県のゴルフ連盟の研修会を年5回するのですけれども、その研修会が利府で行った時にたまたまロッカー室にさとう宗幸さんがいて、その読んでもらった事を有難う御座いましたと言ったら覚えて頂いておりまして、それからなんとなく身近に感じる様になりました、ゴルフの中でも同じ組で回ったりして、話をしている中でだんだん知り合いになりまして、その後は私も雲の上の様な人に感じておりましたので、あまり近づけなかったのですけれども、最近と言いますか一昨年ぐらいかな表のメンバーからさとう宗幸さんとゴルフしないかと言われて、出来るのなら是非という事で一緒にゴルフをさせてもらいました、何回かラウンドする中でいろいろ話をしまして、大河原のロータリーで今度50周年の記念式典があるのですけれどもどうですか、コンサートして頂けませんかと言ったら、ああいいよと二つ返事で応えて頂いたのですが、ただその時酒の席なものですから心配で2回3回言ったのですけれども大丈夫だと、私と立石さんの中で返事をしているのでと言う事で、内容が決まってきたら完全なものにしていきたいと思います、余談になりましたけれども、その様な事の話出来るのも人との繋がりの中で出来たお話しです、この様な話は皆さんも体験していると思いますけれども、ロータリーに入って良かったなと思うのはその様な事を感じる為に人と人の繋がりを大事にしていた結果かなと思います。私もそんなにたいそれた事をしていないのですけれども、花の杜の競技委員長を仰せつかって理事にもなりました、なぜその様になったのかと言いますと花の杜の前の競技委員長だったのが、あまりにもチョコレート皆さん分かる人は分かるでしょうが、お金を掛けてゴルフをするのですけれども、そのお金を取り過ぎたという事もありますし、逆に自分が負けた時は直ぐに帰ってしまう、勝った時は最後まで残っている、いつの間にかその様な事がだんだん大きくなって来るのですね、そうするとその人の信用が無いものですから、反乱を起こした人たちがいまして、ゴルフ場であのような人が競技委員長では私たちはやっていけないという様な話が出ていました、結局辞めざるを得なくなった、その辞めさせた人たちもしょっちゅうゴルフがあるたびに一緒に飲んでいた仲間なのですね、酒飲んでるのは良いのですけれども、醒めてしまつて何かになるとその様な事になる、私が考えるには何もゴルフだけしていれば、その様な事は無かったのではないのかなと思います。その様な中で統率にそむいた人達は親分になりたかったのですね、ゴルフ場側も意地がありますし、周りの人の事もあるので、周り回って私の所にきました、だいたいハンディキャップの上位者とか、いろんな代表者になった人とかの中から選んだものですから私が指名されてなりました、これもボランティア的なところもありますので、けして偉くなった

から良いのではないのですけれども、その様な人の繋がりと言うのも大事なかなと思います。

偉そうにこの様な高い所から話をして、皆さん重々分かっていると思いますけれども、趣味は自分で楽しむものであって人に押し付けるものではないのかなと思います。趣味で知り合っただんどん友達を増やすのは結構ですけれども、やはり自分の考えだけでは生きていけないのかなと思います。近頃だんだん年を取ってくると私もそうなのですけれども怒りっぽくなって聞く耳が無くなってくるのですね、やはり人の話を聞いて自分の考えと折り合いを見つける事が最近大変になってきているような気がします、なんとなく怒りっぽくなっているなど自分で反省して、あのようなこと言っただけでまずいなと思った事も最近多々ある様に思います。その様な事を年のせいにはしたくないのですが、その様になってきているのが現状かなと思っております。ロータリーの件については、いろいろその様な精神を教えて頂いたから、この様になっている現状で楽しい生活を送られている様な感じがします。

あともう一つありまして、庄司稔ガバナーは大変ゴルフが好きな方で、ある日パソコンにメールが入ってきたので何かと見たら、パターの集大成という事で、パターの打ち方・考え方いろんなものを卒業論文みたいにして送って来た事を記憶にあります、内容をみてなるほどその様にいけばいいなと思う面がありまして、ゴルフというのは真っすぐ打って、真っすぐ飛ばばいいのですけれども、曲げなくちゃいけない時には曲がらなくて、その様な事を出来るように成ればプロなのでしょうけれども、自分の思いと反対の方向に行ったりするのがゴルフであって、中々思うようにいかないのがゴルフであります、カタチにとらわれると中々上手くなれないのかなと思います、頭の中を柔らかくして肩の力を抜いてとか、感性のスポーツかなと思います、だいたいこんな感じと言うと力も抜けて上手くいくのかなと思います、よく櫻井俊寛さんの格好を見てみるとなんでもかんでも飛ばしてやるという気持ちでガチガチと固まったホームの様な気がしました、余談ですけれども生きていくのもそうなのですけれども肩を張らずに意地を張らずに頑張らればいいのかと思います、その様な事を感じながら、またロータリーに入ったもう一つは社会貢献とかいろいろありますけれども一人で出来ない事は沢山あると思います、それをロータリーの仲間皆で力を合わせればいろんなこと出来るのかなと言う思いもありまして、社会奉仕等は私個人では出来ないで、皆さんの手を借りながら同じ方向に進めば自然と社会奉仕と言いますか、その様な事に結びつくのかなと思っただけで、入ったのも事実です。この様な事を教えてくれたのも、ここにいる諸先輩方、亡くなった方々、その様な皆さんのお陰かなと思います、いろいろその様な事を感じながら過ごしてきたことが今までの私のロータリーに入ったきっかけを含めて学んだ事かなと思います。またロータリーの精神を知ろうと思えばいろんな手引書がありますのでそれを読むとか、ロータリーの友にもいろいろ書いてあると思いますので、この様なものから学んで頂ければ、より良いものになると思いますのでひとつ読んで頂ければ勉強になると思いますのでお勧め致します。だいたい私が感じたところはそんなところでした。

あと7.8分ありますので、またゴルフの話をさせていただきます、先日の新聞なのですけれども、ルール改正が大幅にあるという事で、例えばテニスですが試合を見ていると4時間5時間ありますよね、あのような試合になるとテレビとか、要は金を出しているところが非常に困るそうです、一つの番組であのくらいの時間がかかると大変なので、スポーツチャンネル以外全て放映することはないようです、またその様な事を短縮させる為にいろんなルール改正が今後ありますよという事で新聞に載っていました、例えば野球での牽制球を廃止してわざわざ投げないで牽制と判断を示したら一塁に行けるという様な事のルール改正する、多分今度の野球から採用するようです、その様な事もテレビに対する放映時間を短くするという様な事もルール改正の要因です、あとテニスで見ていたのは、サーブを打った時にボールがネットの上に当たって入ったボールはもう一度打ち直しになりますけれども、あれもそのまま生かすルールに改正になるという事が載っていました、スポーツの業界もこの様に時間短縮という事で、テレビとかを意識したルール改正になるという様な事が載っていました、本題のゴルフのルールに入りますが、記事を切り抜いて来ましたけれども、一応競技委員長をしているとこの様な勉強もしなくてはならないのですみませんが、ゴルフの規則で、まず今まではボール探しは5分間良いですよ、これが3分間になるそうです、それと2打目を打つ場合は今までだと遠い人から打っていくのがルール

でした、これは罰則の無いルールですけれども、これからは準備の出来た方から打って良いですよという事でこれも時間を短縮する為の改正だそうです、あとワンストロークに掛かる時間という事でこれは40秒内に打ってください、これは推奨ですから遅れても罰則はありません、もう一つは、ドロップ肩の高さから決まっていたのですけれども、今度は地上から3cm離れていればドロップとして認めますよという事で、例えば今までバンカー内でドロップするとどうしても目玉になったのがこれからはなりにくいと、そういったものも時間短縮して早く進める一つの方法かなと思われれます、あとグリーン上でのパットという事で、これもホールに刺したピンに当たれば今までは2打罰でしたけれども、今度は立てたまま打っても当たって入っても罰が無しという事です、これも早く打って進めようかなという事です、最後にバンカー内に入った場合1打罰払ってドロップする場合必ずバンカー内にドロップしてくださいと言うのが今までのルールでしたが、これからは2打罰、例えばバンカーの外でドロップして良いですよという様なルールになります、ただ勘違いしないでください、これは平成19年の来年からです、今年はその準備期間という事で読売新聞に載っていました。

あと2分程ありますので50周年記念式典の事ですけれども、桜井淳一会員の方から話があってチラシを皆さんにお見せしましたけれども、さとう宗幸さんと呼んで無料で、えずこホールにて行うという事の方針で決まりました、当日の次第については午後1時から平土間の方で式典を第8分区とガバナーと大河原町長さんに声を掛けて身内で式典を先ず行いまして、2時半から大ホールで記念講演という事でさとう宗幸さんのコンサートを行う段取りで今進めていますので、皆さんの協力をお願いしたいと思います、先ず800人をなんとかこの会場をいっぱいにしたいと思いますのでお誘い合わせの上是非来て頂けるようお願いいたします。

卒なスピーチで申し訳ありませんでしたけれども、私の感じているロータリーと今お話しさせて頂いた事でした、僭越でしたありがとうございました。